

2024年グループ全員の力を結集

達生堂グループは1月4日、2024年の仕事始めで通常の業務をスタートしました。グループ職員が集まり、新春を祝うとともに、新年のあいさつを行いました。

昨年は、12月27日に恒例のもちつき大会を実施。多田正毅会長を先頭に職員や外国人技能実習生が交代でもちをつき、女性職員たちがお供えもちやあんこもち、きなこもちなどにしました。

12月28日は仕事おさめで年末あいさつを行い、2023年を締めくくりました。

2024年は、1月1日に最大震度7の令和6年能登半島地震が発生。城西病院DMATは被災地には行きませんでした。派遣に備えて待機しました。また年末年始にかけ、城西病院への救急車の搬送や入院が例年の倍になる中で仕事始めを迎え、白石裕比湖理事長は「みんなの力で2024年を乗り越えていきたい」、藤田善幸病院長は「天災や人災を乗り越えるためには訓練が必要。今年は医師の働き方改革など病院

優し
しさ
です

それ
は

小
さ
な
気
配
り

誇
り
を
も
っ
て

や
り
が
い
と

を取り巻く環境が変わり、城西病院としては10月に電子カルテの稼働を予定している。大小の波を全員の力で乗り越えたい」と抱負を語りました。

恒例の今年の標語は、「やりがいと 誇りをもって 小さな気配り それは 優しさです」を発表し、集まった職員全員で「今年も頑張ろう」と掛け声をかけ、締めくくりました。

2024年1月4日

